

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	子ども体験活動事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生涯学習課							
	事業期間	平成13年度			～	平成30年度以降			担当係	青少年育成係						
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		17 生涯学習		3 健全な青少年を地域で育てる									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	5		目	4		大	4		中	3	
	根拠法令・個別計画	生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める経費の内訳(割合)	直接実施・運営	34 %			委託	66 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	子どもたちが体験活動を通じて、子ども同士や大人との交流により社会性を育む。														
	内容 (手段)	<p>○こども自然体験活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の参画により運営委員会を設置し、企画運営により事業を実施した。 自然体験活動(じゃがいもづくり、もち米づくり、魚とり、さつまいも掘り、兒の森里山体験、兒の森リーダー養成講座、中高生サークルクリスマスイベント) <p>○学校外活動運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが参加するイベント・プログラムに、ポイントラリー制度を導入し、30ポイント以上の児童生徒にピンバッジを贈呈した。 ・ジュニアセミナーとして各種体験講座を展開し、その活動の成果発表会を実施した。 料理、手工芸、音楽、囲碁、将棋、科学実験など年間23講座を開催。 ・平成23年度から、講座の開催を講師個人への委託から、団体への委託へと変更し受付から終了までを団体に委託することとした。 <p>※各事業の事務局を生涯学習課が担い、職員は、市民と協働で事業に参加・運営した。</p> <p>【直接経費の内訳】 こども自然体験活動事業委託料 3,120,787円、学校外活動運営事業委託料 2,608,661円</p> <p>◎24年度実施内容 23年度と同様に実施する。</p>														
受益者負担	有(参加者保険料、参加費、材料費)															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	5,763	7,558	5,729	9,172	
		正職員	従事者数	人	0.97	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	5,159	2,659	2,659	2,659
		その他職員	従事者数	人	2.00	2.00	1.00	1.00
			人件費	千円	2,796	2,826	1,520	1,841
		費用合計	千円	13,718	13,043	9,908	13,672	
	対前年比	%		95.0	75.9	137.9		
財源	一般財源	千円	13,718	12,148	9,099	12,912		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	895	809	760		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	自然体験事業	回	目標		7	7	6
実績				7	6	7	
ジュニアセミナー	講座	目標		30	19	18	25
		実績		30	18	23	
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	自然体験活動参加者数(約)	人	目標		—	—	—
実績				1,700	1,700	2,000	
ジュニアセミナー受講者数	人	目標		594	324	324	342
		実績		623	350	453	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	両事業共に、市民、講師との協働により、円滑な運営を行うことが出来、目標を達成した。	
		事業実施における課題等	わくわく魚とりについては、魚の確保が業者でも困難になっている。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	子どもの成長過程に必要な様々な体験活動の機会が無くなり、子どもの健やかな成長を疎外する。	
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持		
	判定理由	様々な体験の機会を通して、子どもの豊かな情操や、親以外の大人との交流を通しての社会性を育む機会の提供は、子どもの成長に必要であると考え、現状維持とした。		
	改善案等	わくわく魚とりについては、魚の確保が業者でも困難になっているため、今後代替案等の検討が必要になる可能性がある。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。